

令和2年度 第7期第3回 新潟市新津地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和2年7月29日（水） 午後3時30分～5時

場 所： 新潟市新津地区公民館 305研修室

出席者： 新潟市新津地区公民館運営審議会 大沼委員，小原委員，川瀬委員，相馬委員，
滝澤委員，田村委員，渡辺（和）委員，（欠席：中島委員，渡邊（香）委員）
事務局 新津地区公民館長，新津地区公民館主幹，堺
小須戸地区公民館長，玉井，桑原

1 令和元年度事業報告について

（事務局） 令和元年度の事業を報告（資料1-1，1-2）

※新津地区公民館，小須戸地区公民館の順で

（川瀬委員） どの事業ということではないが、新津の事業は全般的に外に出ていく傾向で、小須戸の事業はどちらかというと内部で講座を開くというような事業となっている。意図的に分けているのか。

（事務局） 特には棲み分けしていない。各館でそれぞれの担当職員や協力員、企画員などが打ち合わせして、内容を決めたところ、たまたま新津は外で、小須戸は中でということになった。お互い話し合っただけの運営はしていない。

（渡辺議長） 以前は、小須戸地区公民館も小学校に出掛けて行って、ヨガ教室などいろいろやっていたが、どちらかというと去年の事業自体はまちづくりセンター内部が中心になっているような感じがする。小須戸地区公民館の館長は（今年の4月に異動してきているので）去年の事業を見ていないと思うので、今年、来年あたりは学校やコミュニティセンターへ出掛けていくような事業も考えていただきたい。

（事務局） 様子を見て、来年度の企画の段階で考えさせていただく。

（渡辺議長） 確かに近年、外に出掛けて行こうという雰囲気の中で事業が計画されているようにも感じられるが、そればかりがいいというわけでもない。

（小原委員） 4回とか何回という複数回開催された講座の延べ参加者数というものは1回の平均というわけではないのか。

（事務局） 新津地区公民館の3、「秋葉区の学び」をご覧いただきたい。この講座の開設数は1回だが、回数が4回の連続講座となっている。定員が40名となっているので、参加者数は40名となる。毎回参加者全員に来ていただくと、4回なので延べ参加者数は160人になるところであるが、欠席された方がいるので、全4回の参加者数の合計（つまり延べ参加者数）は129名ということになる。ほかの事業も同じような記載方法となっている。

（事務局） 事業評価シートについて説明（資料1-3，1-4）

(川瀬委員) 新津地区公民館の「1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業」であるが、館長の評価では「C (事業縮小)」がひとつある。でも、評点は(事業が)必要の(ということなのか)、いずれも高い点数がついている。事業縮小とはどの事業のことを言っているのか教えてほしい。

(事務局) 「C」の事業縮小という評価は、「おはよう朝ごはん」のこと。昨年度、新津ではたくさんの地区で講座を開催させていただいたが、中央公民館では、もうこの事業は目的を達成したので終了させていただきたいということであったため、事業終了に伴い評価は「C」ということにさせていただいた。

(川瀬委員) 「D」事業廃止ではないのか。

(事務局) 廃止というのは終了ということ。令和2年度は、(かたちを変えて)事業を継続するのだろうと考え事業縮小という評価にさせていただいた。

(川瀬委員) 縮小というと、まだ継続していくような感じがする。ここに、せつかく「D」の事業廃止(という評価)があるので、事業廃止でいいのではないか。

(事務局) ご意見を参考にさせていただき、「D」に変更する。

(皆川副議長) 「2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業」の「改善点」の中で「地域交流事業を実施する学校が伸び悩んでいる。」という記述がある。これは減っているということなのか、それとも同数(横ばい)で推移しているということか。

(事務局) 新津地区公民館で行っているもので、学校を会場に地域の方々を招いて、地域の文化や手仕事みたいな(趣味的な)ものを学んでいただく事業だが、増えていかない、伸び悩んでいる状況である。中学校、小学校にはそれぞれカリキュラムがあるので、どうしても時間割が取れないという学校もある。例えば、総合学習の一環として私どもと一緒に取り組んでいただいている学校があるが、区内の全小学校、中学校において連携できるかという、それはなかなか難しい。やはり学校ごとに特色のある総合学習や地域の取組みがあるので、毎年連携して事業を行っている学校だけが継続して共同開催しているということである。各学校を訪問して事業提案などをさせていただいているが、やはりまだ時間的な割り振りや取り組みたい気持ちはあるけれども、もう少し時間的な余裕がないと公民館と一緒に事業も取り組むのは難しいという状況であり、連携する学校数が伸び悩んでいるということをご理解していただきたい。

(渡辺議長) つまり、公民館はやりたいのだが、学校となかなかうまく調整がつかないというか、微妙に時間割の関係で難しい面があるということか。

(事務局) 学校には学校のカリキュラムがあり、その中で地域教育コーディネーターの方が、地域と学校をつなぎ、授業のボランティアとして地域の方に参加していただくなどいろいろなことに取り組んでいる。そこにうまくタイアップできれば私どもの地域交流事業につながると考えている。毎年いろいろなテーマを決めて、いろいろなことにチャレンジしている

ので、事業提案を続けていきたい。そして、公民館の活動を地域と学校の活動に組み入れていただければと思う。

(皆川副議長) 地域交流事業に限らず、ほかの事業でも学校と連携して実施している事業があると思うが、ほとんどの学校にかかわっているのか。

(事務局) 秋葉区には小学校が12校あるが、今のところ約半分くらいの学校と連携して事業に取り組んでいる。大規模校は会場となる部屋の広さの関係で、入りきらない。学年百何十人と言われている三小や荻小、結小はやりたくてもやれないといった面もある。また、中学校では総合学習活動の中でいろいろなことを学ぶために、それぞれ学校で特色のある事業、カリキュラムを実施している。その中で公民館がお手伝いできるものから、少しずつ連携して事業を行っている。中学校も大体半分くらいとかかわっている。

(渡辺議長) ほかにないようなので、評価については終了する。この評価については、例によって議長と副議長でまた（意見をつけるということによろしいか）。

(事務局) はい。後日原稿用紙をお送りするので、ご意見をいただきたい。

2 令和2年度新潟市公民館事業の基本方針について

(事務局) 「令和2年度 新潟市公民館事業の基本方針」について説明（資料2）
※質問等なし

3 令和2年度事業計画について

(事務局) 令和2年度事業計画について説明（資料3-1, 3-2）
※新津地区公民館, 小須戸地区公民館の順で

(大沼委員) 新津地区公民館の「11. エール」について、開催されるのは3回ということだが、これは3回とも通して参加しなければならない連続講座ではなく、単発を3回するという考え方でよかったと思うがどうか。3回とも必ず出なければいけない講座ではなかったと思うが。

(事務局) 現在企画中で、どのような形態にするかは未定です。

(大沼委員) 今年はゆりかご学級やほかほか学級が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になってしまったので、3回すべては無理だけれども自分の子どもに関係ある回だけ参加したいという方が参加できるように、単発でもオッケーということにしておいていただくとありがたい。

(事務局) 参考にさせていただく。

(滝澤委員) 新津地区公民館の事業報告を聞かせていただいたところ、シニア世代の方の意欲というか参加力が非常に高いという印象を持った。実際に、参加者数や1回当たりの人数でしょうか、出席率もかなり高いように資料からは読み取れるが、その意欲のある皆さんに対して令和2年度の事

業計画を見させていただくと、あきは自然観察会で1回増えていて、アクティブ・シニア講座が3回減っている（5回→2回）。事業評価でもだいぶ必要性が高かったように記載されているが、減らした要因等をお聞かせいただきたい。非常に楽しみにされている方が多いので、もしこのあとコロナ等で何か様子が変わったとしても救済案というか、方策等はお考えか。

（事務局） 「19. アクティブ・シニア講座」の開催回数を5回から2回に減らしたのは、例年座学ばかりではなくて、体を動かす軽運動を必ずプログラムに入れているが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プログラムからはずしたということと、前期から後期に開催時期を延期した関係で、他の事業との調整というか、月の割り当て数というか、担当が一月に二つ以上の事業を抱え負担が大きくなり、運営が難しいということで回数を減らさせていただいた。また、それを救済する講座となると、中止にした講座の予算があるので、参加者の皆様方のご意見などをお聞きして、もしできるチャンスがあればそういったものに取り組むことは可能だと思っている。

【配布資料】

- ・資料1－1 令和元年度 事業報告（新津地区公民館）
- ・資料1－2 令和元年度 事業報告（小須戸地区公民館）
- ・資料1－3 令和元年度 事業評価シート（新津地区公民館）
- ・資料1－4 令和元年度 事業評価シート（小須戸地区公民館）
- ・資料2 令和2年度 新潟市公民館事業の基本方針
- ・資料3－1 令和2年度 事業計画（新津地区公民館）
- ・資料3－2 令和2年度 事業計画（小須戸地区公民館）